

まなざし、あるいは
差異の煌めき

Vol.3

振り返るまなざし

プログラム

ヴィクトル・ウルマン：弦楽四重奏曲第3番 Op.46 (1943)
(1898-1944)

オペラ『アトランティスの皇帝』Op.49b (1943)

～演奏会形式舞台上演(日本語字幕付き)

Viktor Ullmann: Streichquartett Nr. 3 Op.46

Oper 《Der Kaiser von Atlantis》Op.49b

出演者

Ensemble NOMAD

木ノ脇道元(fl) 菊地秀夫(cl) 甲斐史子(vn) 菊地知也(vc) 佐藤洋嗣(cb)
中川賢一(pf) 宮本典子(perc) / ゲスト:南方総子(ob) 坂口大介(sax)
東川理恩(tp) 大鹿由希(vn) 迫田 圭(va) 小坂圭太(cemb/harm)
上野美菜(perc) 土橋庸人(gt/banj)

オペラ・キャスト

オーバーオール皇帝:須藤慎吾 ラウドスピーカー:小森輝彦 死神:大塚博章
ハルレキン:升島唯博 兵士:澤原行正 少女:青木エマ 鼓手:天羽明恵

スタッフ

指揮・音楽監督:佐藤紀雄 演出:稲垣 聡

アーティスティック・アドバイザー:升島唯博 プロデューサー:花田和加子

2025

12

28

Sun.

東京オペラシティ
リサイタルホール

13:30開場

14:00開演

チケット取り扱い

東京オペラシティチケットセンター / Tel:03-5353-9999

アンサンブル・ノマド ウェブサイト / <https://www.ensemble-nomad.com/>

お問い合わせ

keynote

Tel:0422-44-1165

keynote_music@fol.hi-ho.ne.jp

チケット

【前売】

一般 ¥4,000

大学生 ¥2,000

高校生以下 ¥1,000

【当日】

一般 ¥4,500

大学生 ¥2,500

高校生以下 ¥1,500

(就学前のお子様の同伴・ご来場はご遠慮下さい)

アンサンブル・ノマド 第86回定期演奏会



まなざし、あるいは差異の煌めき Vol.3 振り返るまなざし

アンサンブル・ノマドは2014年第49回定期演奏会においてグリゴリ・フリドのモノオペラ『アンネの日記』を上演した。アンネがアムステルダムの子供に隠れて日記を書いていた頃、ポーランドのアウシュヴィッツ強制収容所のガス室でひとりの偉大な作曲家が殺害された。このプログラムではその作曲家ヴィクトル・ウルマンがテレジン強制収容所収監中に遺した、エネルギーが噴出するような『弦楽四重奏曲第3番』と、身の危険を顧みず体制批判的内容を込めたオペラ『アトランティスの皇帝』を上演する。アンネやウルマンが直面した極限状態は今も世界の様々な地域で起こっているし、これからも起こるであろう。過去に無関心でいる事は、現在や未来を見る目を曇らせる。

佐藤 紀雄

オペラ「アトランティスの皇帝」

独裁者の傲慢のせいで誰も死ぬことができなくなった世界。
命の尊厳と死の意味を寓意と風刺によって謳いあげた稀代のオペラ。

Ensemble NOMAD

1997年、ギタリスト佐藤紀雄の呼びかけによって集まった、無類の個性豊かな演奏家によって結成されたアンサンブル。「NOMAD」(遊牧、漂流)の名にふさわしく、時代やジャンルを超えた幅広いレパートリーを自在に採り上げ、斬新なアイデアやテーマによるプログラムによって独自の世界を表現するアンサンブルとして内外から注目されてきた。2002年度に行った第15回定期演奏会「ケージとメシアンの間で交わす自然と宇宙に関する往復書簡」は大きな反響をよび、サントリー音楽財団「第2回佐治敬三賞」を、2014年度に行った第52回定期演奏会「再生へvol.3: 祈り〜エストニアから震災復興を祈るコンサート」により「第3回ウィーン・フィル&サントリー音楽復興祈念賞」を受賞した。海外からの招待も多く、2000年オランダの「ガウデアムス音楽週間」、2003年ベネズエラで行なわれた「フェスティバル・アテンポ」、2005年11月パリで行われた「フェスティバル・アテンポ」およびイギリスの「ハダースフィールド現代音楽祭」、2007年にはメキシコの「モレリア音楽祭」、また2008年10月にはソウルでの「パン・ムジーク・フェスティヴァル」などに出演。2009年秋には、中国の北京首都師範大学、北京中央音楽学院、四川音楽学院で中国人作品を中心としたプログラムの公演を行ない、好評を博した。2011年には2度目の韓国公演を開催。2013年7月にはエストニアとオランダで公演を開催。2014年にはメキシコの「セルバンティーノ音楽祭」に日本を代表するアンサンブルの1つとして招聘された。2015年12月に再び中国四川公演を行い、2020年には「ライプツィヒ現代音楽祭」にonlineで参加。2023年11月には3度目の四川公演を行った。今後もメキシコやフランス、ブラジルなどでの公演を予定している。また、近年ではアウトリーチ活動にも積極的に取り組み、保育所、病院、小学校、特別支援学校等で訪問コンサートやワークショップを行なっている。公式ウェブサイト:<https://www.ensemble-nomad.com>



#86出演者/佐藤紀雄 (cond) 木ノ脇道元 (fl) 菊地秀夫 (cl) 甲斐史子 (vn) 菊地知也 (vc) 佐藤洋嗣 (cb) 中川賢一 (pf) 宮本典子 (perc)

ゲスト



© 稲垣徳文
南方総子 (ob)



坂口大介 (sax)



東川理恩 (tp)



大鹿由希 (vn)



追田 圭 (va)



小坂圭太 (cemb/harm)



上野美菜 (perc)



土橋庸人 (gt/banj)

オペラ・キャスト



須藤慎吾 (バリトン)



小森輝彦 (バリトン)



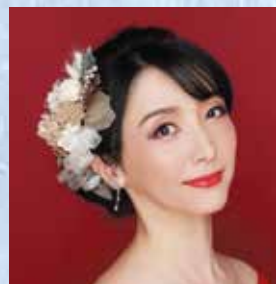
大塚博章 (バス)



升島唯博 (テノール)



© T.Tairadate
澤原行正 (テノール)



青木エマ (ソプラノ)



© Akira Muto

天羽明恵 (ソプラノ)

東京オペラシティ リサイタルホール

東京都新宿区西新宿3-20-2
東京オペラシティB1F
Tel: 03-5353-0788
京王新線「初台駅」
東口下車徒歩3分